

マイバッグを持って 買い物に行こう



市では、レジ袋を削減するため、市内スーパーなどの事業者や市民の会と「宗像市レジ袋削減懇談会」を立ち上げ、低炭素化社会、3R循環型社会の構築を目指しています。マイバッグ持参をさらに推進するため、実際にマイバッグを使っている人や、事業者の声を紹介します。

■問い合わせ先 生活環境課 ☎(36) 1421

●宗像市食生活改善推進会・赤間地区の 田中礼子さん(写真左)と間宮道子さん

マイバッグはいつもかばんの中に折り畳んで入れています。車の中にも常備しているので、マイバッグを忘れることはありません。豆腐や魚などの水分が多いものや、においが気になるものは、小さなバッグに入れてから、大きなバッグに入れるなどの工夫をしています。

スーパーのレジで並んでいると、マイバッグを持参されている人が多くなったと感じます。買い物に行く時は「マイバッグ持参」。これが常識と思っています。



●エフコープ自由ヶ丘店の高田耕次店長

10月1日からレジ袋の無料配布を中止しています。「限りある資源を大切に使うため、無駄なレジ袋を使わない」「環境に配慮した暮らしを目指すきっかけづくりにする」という目的です。

マイバッグを忘れたお客様には、マイバッグを貸し出していますので、自由に使ってください。また、ごみ箱などで使う袋にレジ袋を使わないように、新聞紙を利用して作ったものも、店内に準備しています。

限りある資源ということを再確認して、買い物籠を使っていた昔を思い出してほしいですね。



家族みんなをマイエコライフ

ひとしぼりでも

53グラム減量

市では、市民サービス協働化提案制度で、「葉山ヘルスケア・省エネ共和国」と水切り講座「家族みんなのエコライフ」を開催します。生ごみの水切り方法や、ごみ減量によるCO2削減効果を紹介。受講無料。事前申込不要。受講者には水切りグッズを進呈します。

●場所 ゆうゆうぷらざ・研修室

■問い合わせ先 生活環境課 ☎(36) 1421



●日時 12月14日(水) 午前9時~同10時

受講者には水切りタイエット(写真)と水切りネットを進呈



河東小児童が水辺教室 釣川の源流で「釣川」を歌う

河東小学校の4年生38人が9月26日、水辺教室に参加。今回は、釣川の源流でオカリナの伴奏に合わせて「釣川」を歌いました。

釣川の歌は、水と緑の会の設立20周年を記念して昨年、市民に歌詞を公募して作った歌です。この日は、赤間西地区コミュニティ・センターでオカリナ教室を開いている大曲テロコさんらのグループ「青い風」のメンバー7人がオカリナを演奏。キーボードは、市内で一緒にボランティア演奏活動をしている道山ひじりさんが務めました。

大曲さんは「市の広報紙で釣川の歌があることを知り、初めて聞いた時、メロディーが美しく、覚えやすくていい曲だなと思いました。ボランティア演奏活動で、みなさんと一緒に歌える『ご当地ソング』があったらいいな」と思っていました。釣



釣川の源流でオカリナとキーボードの演奏に合わせた歌う河東小の子どもたち

川の歌はピッタリです。水辺教室の案内役は、水と緑の会の会長で、高校教諭の福島敏満さんです。子どもたちは、福島先生から田んぼと川の関係や水路の管理などの話を聞き、2回しか練習して

を聞きながら、釣川の源流を目指しました。釣川の源流は、吉留の平山池の堤から徒歩で約10分の所にあります。山の中の木立に囲まれた小さな広場にあり、窪地からわずかに出る清水が源です。子どもたちは、山から水が流れ出るまでの植物や微生物、土などの関わり、水を守るためには山の自然を守ることが大切などの説明を福島先生から受けました。

【参加者の「コメント」】
▽山崎華さん、山田芹奈(せりな)さん
源流の水は冷たくて気持ち良かった。釣川の歌はきれいな曲で、川の自然を感じた。オカリナは、鳥の鳴き声のように聞こえた。

▽岩村優希人(ゆきと)くん
釣川の歌は練習が少なかったのですが、リズムが取れなかったけれど楽しく歌えた。
▽オカリナを演奏した大曲さん
源流の水の音をバックに、子どもたちの歌と一緒に演奏できて感動しました。子どもたちの歌と笑顔に元気をもらいました。これからも練習を重ねて「釣川」を演奏したいと思っています。
■問い合わせ先 生活環境課 ☎(36) 1130

海岸を散歩しながら ごみ拾いをしてみませんか

■問い合わせ先 生活環境課 ☎(36) 1421

海岸線清掃活動をする「クリーンアップむなかた」の9月までの清掃状況を紹介。

【9月】▽参加人数=91人
▽収集量=195袋

【累計】▽参加人数=7,801人
▽収集量=1万7,703袋

*活動は、毎週日曜日9:00から約1時間(雨天中止)

【集合場所】釣川河口両側海岸、鐘崎深浜海岸

家庭の燃やすごみ量の推移 (1日1人当たりのごみ量)

分別することで ごみ量を減らしましょう

ごみとして出す前に、分別して資源物になるかどうかを確認するなど、ごみの減量に取り組みましょう。

例えば、白色トレイは1枚で約5~8gあります。店頭で回収している店もありますので、分別して出してください。

■問い合わせ先 生活環境課 ☎(36) 1421

年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
22年	523	546	539	529	496	490	481	497	524	433	435	475
23年	515	549	539	508	506	485						